

駐車場有料化 1 年経過時点  
総括報告書

海老名市 市民協働部

令和 5 年 8 月

## 駐車場有料化1年経過時点総括報告書

### 1 はじめに

#### (1) 総括の目的

令和4年度に市内公共施設のうち5施設の附帯駐車場を有料化し、1年が経過したことから、実績を分析し報告します。

なお、年度途中の運用開始であったことから、運用経費をより正確に算出するため、集計期間を令和4年6月1日から令和5年5月31日までとして集計を行いましたので、実績とともに報告します。

#### (2) 総括の方法

収支状況、利用者の反応、施設利用状況等のデータを分析し、3つの柱である「受益者負担の適正化」「負担の公平性」「財源の確保」の観点から目的と現状の整合を評価します。

#### (3) 対象施設

施設名称	駐車台数
えびな市民活動センター(ピナレッジ・ピナスポ)	132 台
文化会館・中央図書館・総合福祉会館	313 台
海老名運動公園	612 台
北部公園	77 台
中野公園	136 台
合計	1,270 台

### 2 収入と利用状況の分析

#### (1) 収入と利用者数の総額

項目	全施設計	当初見込み
駐車場利用料	80,863,723円	112,689,000円
駐車場利用台数	782,971台	715,000台

※駐車場利用料には市民割引カード再発行手数料を含む。

※令和4年6月から令和5年5月までの12か月実績による。

## (2) 施設別収入と利用台数の内訳

施設ごとの収入と利用台数の内訳を示します。施設の種類や規模による収入と利用者数の違いを分析します。

ア 駐車場規模が最も大きい運動公園附帯駐車場が収入及び利用台数ともに最も多く、施設規模の小さい中野公園附帯駐車場が収入及び利用台数ともに最も少ない結果となった。

イ 文化会館附帯駐車場は利用割合に比べて収入割合が高く、利用料金を払っている割合が高いことから、駐車料金の発生する利用が多い施設といえる。

	市民活動センター	文化会館	運動公園	北部公園	中野公園	合計
利用料（円）	12,732,124	16,849,793	39,618,306	6,815,283	4,848,217	80,863,723
収入割合	15.7%	20.8%	49.0%	8.4%	6.0%	100%
利用台数	124,355	127,885	355,123	124,303	51,305	782,971
利用割合	15.9%	16.3%	45.4%	15.9%	6.6%	100%

※令和4年6月から令和5年5月までの12か月実績による。

※収入割合および利用割合は、個々に計算しているため合計と一致していません。

### (3) 駐車場利用状況と収入の関係

駐車場の利用状況から、収入の関係を分析します。特定の利用状況が収入にどのように影響しているかを明らかにします。

ア 無料時間（0分～1時間）までの利用率が全体の55%であり、利用料金のかからない範囲の施設利用が最も多いことが確認できる。

イ 附帯駐車場の長時間利用の多くが運動公園であることから、大会などによる長時間利用によるものと思慮されます。

ウ 市民割引カードはこれまで21,004件（令和5年7月10日時点実績）の登録がありました。

また、有料利用のうち42.9%で市民割引カードが使用されていることから、市外在住の施設利用者が一定数ある中では、施設を利用する市民には発行及び使用の周知がされているものと考えます。

(台数)

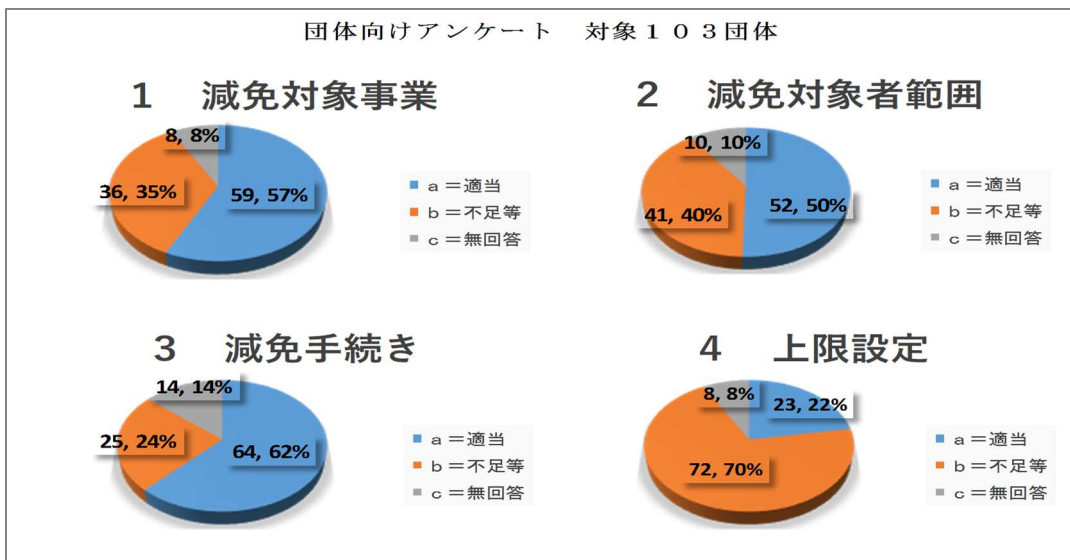
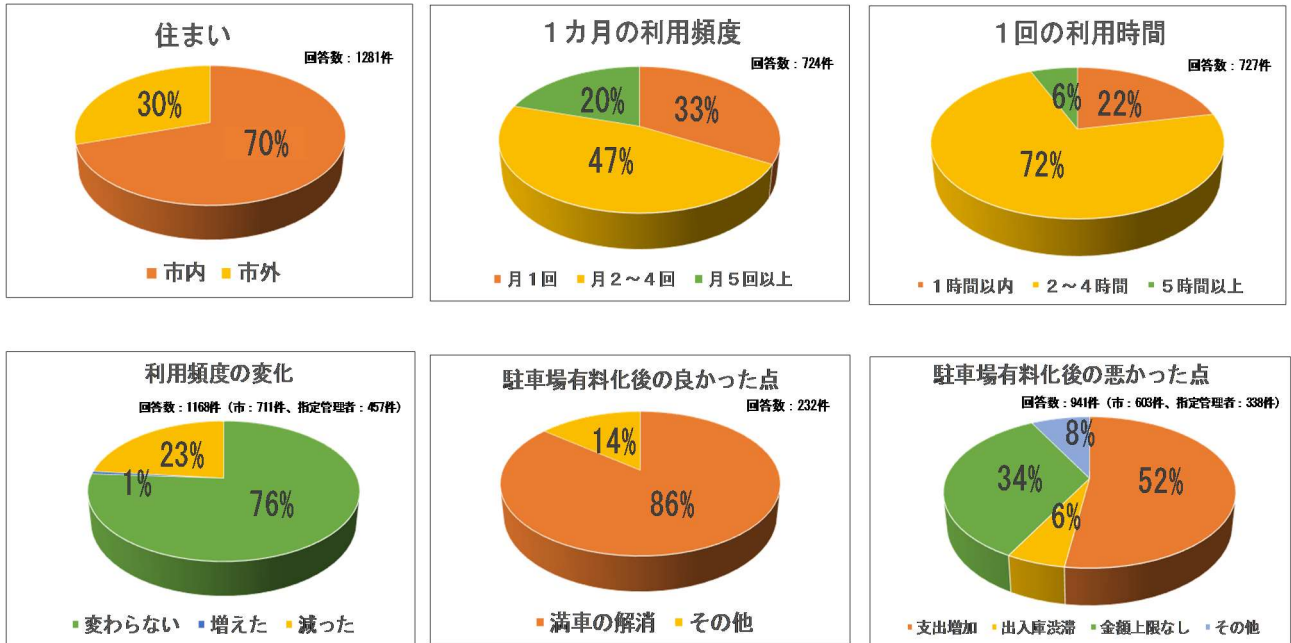
項目(時間)	市民活動センター	文化会館	運動公園	北部公園	中野公園	分布割合	合計
0～1	50,228	61,479	199,306	86,726	34,629	55.2%	432,368
1～1.5	16,580	10,835	34,758	11,227	3,729	9.9%	77,129
1.5～2	23,440	13,590	36,644	11,045	2,478	11.1%	87,197
2～3	23,238	24,508	40,473	10,495	4,828	13.2%	103,542
3～4	7,848	10,140	17,168	3,339	3,015	5.3%	41,510
4～5	1,738	3,847	8,742	740	1,193	2.1%	16,260
5～6	590	1,510	5,168	295	648	1.0%	8,211
6～7	305	909	2,955	162	547	0.6%	4,878
7～8	163	669	2,961	108	149	0.5%	4,050
8～9	85	206	2,895	81	66	0.4%	3,333
9～	140	192	4,053	85	23	0.6%	4,493
合計	124,355	127,885	355,123	124,303	51,305	100%	782,971

※収入割合および利用割合は、個々に計算しているため合計と一致していません。

#### (4) 利用者の反応

利用者の御意見は、窓口、電話により寄せられたものに加え、要望などを的確に捉えるため、団体及び利用者からのアンケート調査を実施しました。

個人（利用者）アンケート 1, 298件回答



施設に寄せられた意見等

内容	件数
設備不具合等に係る意見	39
制度全般に係る意見・要望	24
市民割引カードに係る問い合わせ	11
無料時間延長の要望	10
出庫集中による苦情	9
利用者割引の要望	6
その他	23
合計	122

## (5) 利用者数の変動とその分析

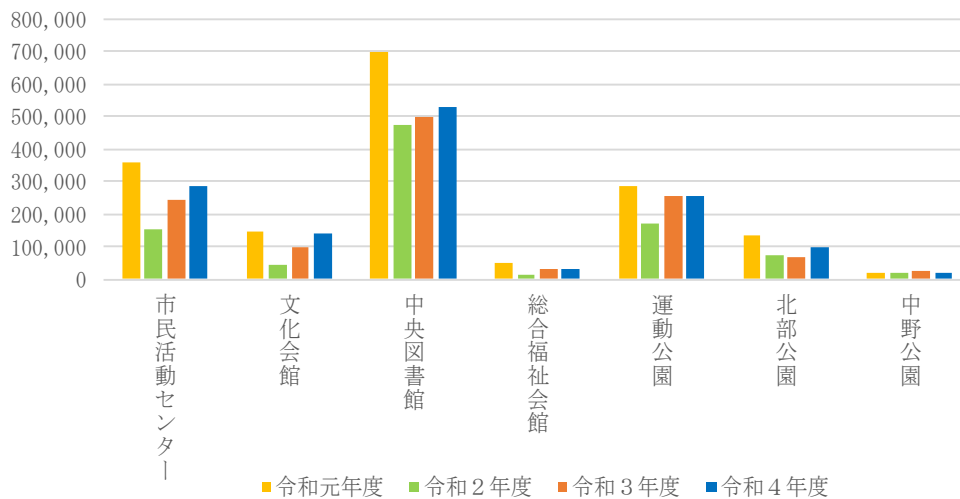
施設利用者は、令和元年度と比較すると20%程度減少しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設とも利用者数は大きく減少していますが、その後は増加しています。

令和4年度と3年度との比較では、11%上昇しており、駐車場有料化の影響により施設利用者が減少していないことから、市民及び利用者から一定の理解を得ているものと解します。なお、集計は年度で行っています。

(人)

年度	市民活動センター	文化会館	中央図書館	総合福祉会館	運動公園	北部公園	中野公園	合計
令和4年度	284,546	142,743	528,277	33,883	254,579	96,779	21,007	1,361,814
令和3年度	245,743	98,134	497,379	28,868	254,899	71,027	26,791	1,222,841
令和2年度	155,625	41,093	476,788	15,479	169,524	73,362	20,905	952,776
令和元年度	359,999	148,232	700,232	51,216	283,950	136,174	20,067	1,699,870



※1 令和元年度は3月の約1か月休館、令和3年度は時短開館期間がありました。

※2 令和3年度は通年、令和4年度は春、秋に新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として、えびな市民活動センター、海老名運動公園総合体育館、北部公園体育館を使用しておりました。

### 3 これまでの改善等対応

有料化の開始以降にいただいた様々なご意見、ご要望に対して、これまでに  
対応してきました事項を報告します。

項目	時期	内容
混雑時の指定 管理者対応	令和4年5月	精算時、精算機での処理をサポート
開場時間変更	令和4年7～10月 (試行)  令和5年4月(実施)	海老名運動公園及び北部公園の付 帯駐車場開場時間を6時30分 から5時30分に変更
減免手続きの 簡略化	令和4年9月～	○利用者カードへ身体障害者手帳 取得者の判別シールを貼付 ○減免申請書類の押印廃止 ○添付資料の既存資料の代用
アンケートの 実施	令和4年11月	意見や要望を把握するため団体及 び個人(駐車場利用者)を対象に アンケートを実施
減免対象事業 の再確認	令和5年3月	駐車場利用と施設利用の減免適用 を指定管理者及び団体へ再周知
上限料金設定	令和5年4月	市民活動センター 1,600円(市内 800円) 文化会館 2,000円(市内1,000円) スポーツ施設 1,400円(市内 700円)
舗装整備	令和5年8月～ 令和6年2月 (予定)	文化会館等付帯駐車場の未舗装部 分についてアスファルト舗装整備 工事を施工予定

## 4 目的の評価

### (1) 受益者負担の適正化と負担の公平性

令和4年に実施した個人及び団体へのアンケートの結果として、個人利用者の「有料化後の良かった点」の回答として、86%の利用者が「満車の解消」と回答している。これに対して「有料化後悪かった点」として、支出の増加と回答している利用者が52%でした。

「満車の解消」については、有料化によって施設を利用しない人の不適切利用が減ったことによるものと推察されます。また、「有料化後の悪かった点」では、支出の増加があげられましたが、前述の改善（上限額の設定）を行うことにより負担感の解消に取り組みました。

こうしたことから、施設利用者による駐車場利用について、利用者の応分の負担に対するサービス提供ができており、また、維持管理に充当可能な財源を確保（後述）したことから、現状においては、受益者負担の適正化及び負担の公平性が図れているものと判断します。

### (2) 財源の確保

年間の収支実績より令和4年度から8年度までの5年間で試算したところ、135,924千円の収支を見込みました。

また、イニシャルコストを除いた収支においては毎年57,421千円の収支となる見込みであることから、施設の維持管理を含めた財源の確保が図れます。

なお、イニシャルコストにおいても、試算した収支により3年以内に回収できるものと考えます。

項目	年間実績	5年間の推計				
	(R4.6月～R5.5月)	R4年度実績	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
①収入 (駐車場利用料等)	80,863,723円	70,776,491円	80,863,000	80,863,000	80,863,000	80,863,000
②支出 (ランニングコスト)	23,441,960円	21,316,473円	23,442,000	23,442,000	23,442,000	23,442,000
③収支小計 (①-②)	57,421,763円	49,460,018円	57,421,000円	57,421,000円	57,421,000円	57,421,000円
④支出 (イニシャルコスト)	143,219,450円	143,219,450円	0円	0円	0円	0円
収支計 ※累計	<b>-85,797,687円</b>	<b>-93,759,432円</b>	<b>-36,338,432円</b>	21,082,568円	78,503,568円	135,924,568円

※イニシャルコストは有料化に伴う駐車場整備工事費、備品購入費及び指定管理料に含む初期費用

※ランニングコストは指定管理料、備品購入及び消耗品費

※「R4～R8」は、令和4年度の実績と2(1)による実績を令和5年度以降に当てはめた推計



## 5 附帯決議

公共施設附帯駐車場の有料化を実施にあたり、令和3年12月17日付けで、海老名市議会において「議案第57号に対する附帯決議」がなされました。

この決議では、5つの項目について、十分な留意と柔軟な対応を求められており、それらの対応については、次のとおりです。

### (1) 各種事業及び団体への減免の在り方の継続的検討

有料化開始後も、減免手続きの簡略化や減免対象事業の再確認に取り組んでまいりました。また、各所管課でも、所管団体と調整を図ってまいりました。今後も、事業及び団体の公共性や福祉などの観点から対象範囲を総合的に判断し検討してまいります。

### (2) スポーツ振興、文化振興、様々な市民活動への支援や取り組み

令和4年度には、新たな取り組みとして、高度スポーツの誘致や、文化芸術協会への補助制度の創出及び市民活動団体の活動内容の展示会を実施してまいりました。

今後も、各種団体や指定管理者と意見交換を行いながら、様々な市民活動が更に活発化するよう、必要な支援や取り組みを行ってまいります。

### (3) 各公共施設における更なる市民サービスの維持向上

有料化開始後、要望を受け運動公園等では開場時間の変更を行い、令和5年度には、文化会館附帯駐車場の舗装整備を実施する予定です。

施設利用者が快適な活動ができるよう、ハード・ソフト両面において、さらに充実した市民サービスを提供してまいります。

### (4) 駐車場料金収入及び使途の透明性の確保

1年経過時点で本報告書をまとめました。今後は、毎年の決算時において整理してまいります。

### (5) 導入から2年程度での駐車料金及び実施方法の見直し

駐車料金については、上限料金の設定を実施しました。今後も、周辺の状況を勘案しながら検討してまいります。

また、実施方法については、混雑時の精算機処理のサポートを実施するなど改善してまいりました。今後も市民や各種団体の意見を継続的に集約し、要望を的確に捉えながら、改善できることについては随時見直しを行ってまいります。

## 6 おわりに

公共施設附帯駐車場有料化においては、様々な御意見をいただきながらスタートした事業であります。

利用者の方の負担軽減や利便性の向上のため、減免手続きの簡略化や上限時間の変更を行い、有料化を実施している各施設での取り扱いに齟齬がないよう統一基準を確認するなど、いただいたご意見を取り入れながら進めてまいりました。

有料化したことにより、適切な利用が図られ、また維持管理に充当可能な財源を確保することができることとなり、当初の目的である「受益者負担の適正化」「負担の公平性」「財源の確保」が図られたと認識しております。

なお、利用料金に関しましては、現在、指定管理者から納付金として市へ納入していただいておりますが、まだ有料化から1年が過ぎたところで、当分の間はこれを継続してまいります。

今後についても、様々なご意見ご要望を集約し、時世に即した改善を図りながら運用してまいります。